



ロイヤル・カリビアン・インターナショナルが新造船建設の基本合意書に署名

**Royal Caribbean Signs Letter of Intent to Build New Generation of Ships**

マイアミ/パーペブルク(ドイツ) 2011年2月11日 - この度ロイヤル・カリビアン・インターナショナルはドイツの船会社メイヤー・ウェルフ社と新造船建設の基本合意書を交わしました。“サンシャイン・プロジェクト”という名で誕生する今回の新造船は、ロイヤル・カリビアン・インターナショナルの過去の経験と未来への想像をもとに新しいデザインを取り入れます。正に、同社の長年の研究と開発の努力の結集と言えます。

新造船は2014年の秋に1隻目の完成を予定しており、更に2015年の春に2隻目の追加も検討中です。総トン数15.8万トン、乗客定員4,100名となる新造船の建築費用は、設計費から運営費、建設費、コンピュータやベッドリネン類までの内部設備費など全て含めて1ベッドあたり約17万ユーロ(約1920万円)となる予定です。

「ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは、クルーズ業界で最も斬新的な客船を提供するという高い評価をいただいております、今度の新造船もその期待を決して裏切らないでしょう」と、ロイヤル・カリビアン・インターナショナルの会長兼CEOであるリチャード・Dフェイン氏。「“サンシャイン・プロジェクト”は、私たちの既存の客船から寄せ集めた最高のアイデアをベースに、更に面白いアクティビティやエンターテインメントを新規で追加しています。開放感あふれる壮大な空間から和気藹々とした小スペース、アクティブなイベント・プログラムから静寂に満ちたパーソナルな空間、多種多様なダイニング選択から家族で楽しめる食事体験など、全てのお客様の要望に対応できるサービスを提供できると思います。又、新プロジェクトでは、これまで以上にエネルギーの効率化と環境に配慮した技術の向上も導入しました。私たちの20年以上もの経験とメイヤー・ウェルフ社からの魅力的な提案から誕生する新造船は、お客様の全ての期待に沿えると確信しております。」

また、メイヤー・ウェルフ社の専務取締役ベルナール・メイヤー氏も、「私たちメイヤー・ウェルフ社は、斬新な客船を建造すると評価され続けているロイヤル・カリビアン・インターナショナル社と一緒に仕事をできることをとても光栄に思います。彼らのプロジェクトは、常に私たちにクルーズ業界で最先端の技術を生み出す機会を与えてくれます」とコメントします。

以上